

普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)7月2日

所属名：大津・南部農産普及課

番号：A21004

部門分類：160 (果樹)

発信者名：村井、和田真

守山ナシ産地で産地計画の実現に向けて大苗育苗中！

今年度、もりやまフルーツランドのナシ産地において、策定された産地計画に基づいてナシ新品種「香麗^{こうれい}」が「ナシ樹体ジョイント仕立て」で導入されることとなり、そのために必要な大苗育苗の指導に取り組んでいます。

高齢化による担い手確保等が課題となっていた守山市の果樹団地（通称「もりやまフルーツランド」）は、令和2年9月に「もりやまフルーツランド果樹産地構造改革計画」を策定し（R3.4一部改訂）、魅力ある果樹産地づくりを開始されました。

今年度、当課技術支援のもと、新たに参画された法人により、有望品種「香麗^{こうれい}」が県内初の新技術「ナシ樹体ジョイント仕立て（神奈川県農業技術センター開発）」で導入されます。当技術は①早期成園化 ②栽培管理の省力・簡易化 ③樹勢の均一化 が見込めますが、必須となる大苗育苗は県内事例も少なく、不安視されていました。

そこで当課は、昨年その法人とともに鳥取県での大苗育苗の先進事例調査を行い、学んだ技術を参考に、今年4月から普及計画に位置付けて、ジベレリンペースト処理、施肥、かん水等を指導してきました。あわせて調査研究活動として生育状況の調査も行っており、得られたデータは滋賀県版のナシ大苗育苗マニュアルの基礎資料となる予定です。

4月に発芽した新芽は、6月中旬には約1.1mまで伸長し、現時点で目標通りの生育が得られています。今後も秋期までの新梢伸長管理や11月頃のは場定植、令和4年3月頃の隣接樹との接ぎ木（ジョイント）に向けて、引き続き支援していきます。



図 大苗育苗ほ場の状況(6/21時点)

※秋期までに破線部まで伸長させることを目標としています。